

専攻科福祉専攻の教育方針

教育目的

保育士養成課程で養われた専門性を基礎として、社会のニーズに応じた介護福祉士を目指すための知識と技術を兼ね備え、価値観を越えて生活支援できる人材育成を目的とする。

教育目標

1. あらゆる介護場面に汎用できる基本的な知識・技術の習得に向けた教育を実施し、尊厳の保持・自立支援の観点から介護実践できる能力を養う。
2. 利用者のみならず、人の心に寄り添う精神的支援や援助のために、実践的なコミュニケーション能力を養う。
3. 多職種との協働や介護保険などの制度の仕組みを踏まえ、具体的に介護過程を展開できる能力を養う。
4. 自らの価値観にとらわれることなく、安全に配慮したその人らしい生活を支援できる能力を養う。

学習成果

- ・ 介護福祉士としての知識・技術・倫理観を身につけて、社会に貢献できる。
- ・ 根拠に基づいた介護の実践ができる。
- ・ 介護福祉士として、多様なニーズに対応できる。

学位授与の方針（ディプロマポリシー）

専攻科福祉専攻では保育士養成課程の学習を踏まえ、介護福祉士として社会に貢献できる人材育成を目指すとともに、所定の単位を修得した者に修了証書を授与します。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

保育士資格を基礎に多様な介護ニーズに対応する能力を養い、幅広く生活を支援できる人材育成のための介護福祉士養成科目としています。

- ・ 保育士養成で培った能力をさらに発展させる介護福祉士養成科目の設置
- ・ 介護実践力を高めるため、演習、実習時間数を拡充
- ・ 介護福祉士合格を目指し、専門職として一定の質を担保できる科目の設置
- ・ 国家試験対策や知識の修得度を確認する模試の実施

入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）

保育士資格を有し、さらに福祉を深めたいという意欲ある学生を求め、以下の視点を重視しながら入学志願者を選考しています。

- ・ 介護福祉士として社会に貢献しようとする意欲のある人
- ・ 相手の立場に寄り添って考えようとする人
- ・ 礼儀正しく笑顔あふれる人

2017年3月改定